

ハ、労働調査を一層完備して運動方策の確立に資せんとするものである。

要するに労働運動の一般方策は必然的に資本主義発達の影像である。従つて労働運動の重要な職分は労働大衆の日常の欲求を階級的欲求に進展せしむることである。職分を遂行せんが爲には單なる科学的の名に因はれたる理論的觀念的推理のみを以てしては断じて不能である。社會進化の丁史的發展の理論は労働の指導原理であるに違ひないがその理論の構成は飽達も現実にも反映するものでなければならぬ。吾等は此の意味に於て労働運動の方策は大膽に現実を直視し環境を正確に認識したる上に樹てられなければならないと信ずる。即ち吾

等は日常闘争を中心として政治的と経済的と労働階級の結束団結を圖り而して組織せられたる労働大衆を以て鮮明なる階級意識に教化訓練し此の労働大衆の鞏固なる組織的實力を以て労働者解放の大義に邁進すべきである。我が總同盟は十四箇年の歴史と戦績とを有し我國労働運動の前途に對し重大なる使命を持つものである。今日の組合運動の薄沌たる時に際し特に此の宣言を發する所次である。

一九二五、一、六

日本労働總同盟十四年度臨時大會